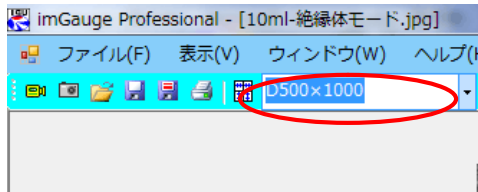


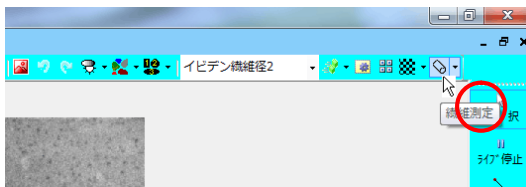
ファイバー測定追加説明

<http://www.imsoft.co.jp>

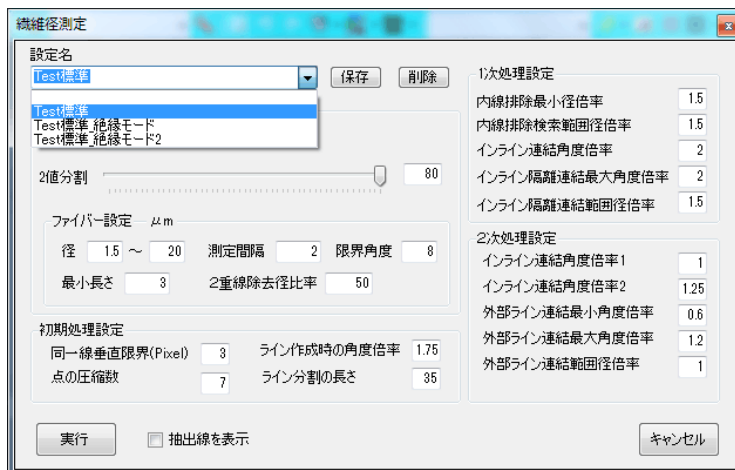
- 1) アプリケーションを起動し、キャリブレーションコンボボックスで、撮影レンズ D500 × 1000 を選択してください。(新規レンズの場合は、取扱説明書 第3章「基本的な操作」)
2. 「キャリブレーション」(平行線)を参照ください。)



- 2) 画像を開きます。サンプル画像は C:\ProgramData\Imsoft\imGauge\Images (Windows7) にあります。
- 3) 画面右上の繊維測定ボタンを押します。



- 4) 設定名[Test 標準](20121010 提供画像)を選択します。



処理高さ: 画像下のレンズ名やスケールなどを除いた高さを設定します。(4の倍数で設定します)

2値分割: 2値化時の処理係数(デフォルト80で、画像幅が小さくなれば数値を下げます)

----ファイバー設定----

径: 測定範囲(広い範囲で設定しますと、認識誤差が増えます)

測定間隔: 径測定のピッチ

限界角度: 湾曲したファイバーの検出角度係数

最小長さ: ファイバーの検出最小長さ

2重線上径比率: ファイバー径が2重に検出される場合の、内側線の径に対する比率。(35~50)

-----初期処理設定-----

同一線垂直限界: 点郡の線認識最大垂直距離。

ライン作成時の角度倍率: 最初のライン認識時の隣接点との角度倍率 (限界角度の倍率)。

点の圧縮数: 元点から誤差除去のための平均化数。

ライン分割の長さ: 同一線を分割認識する長さ。

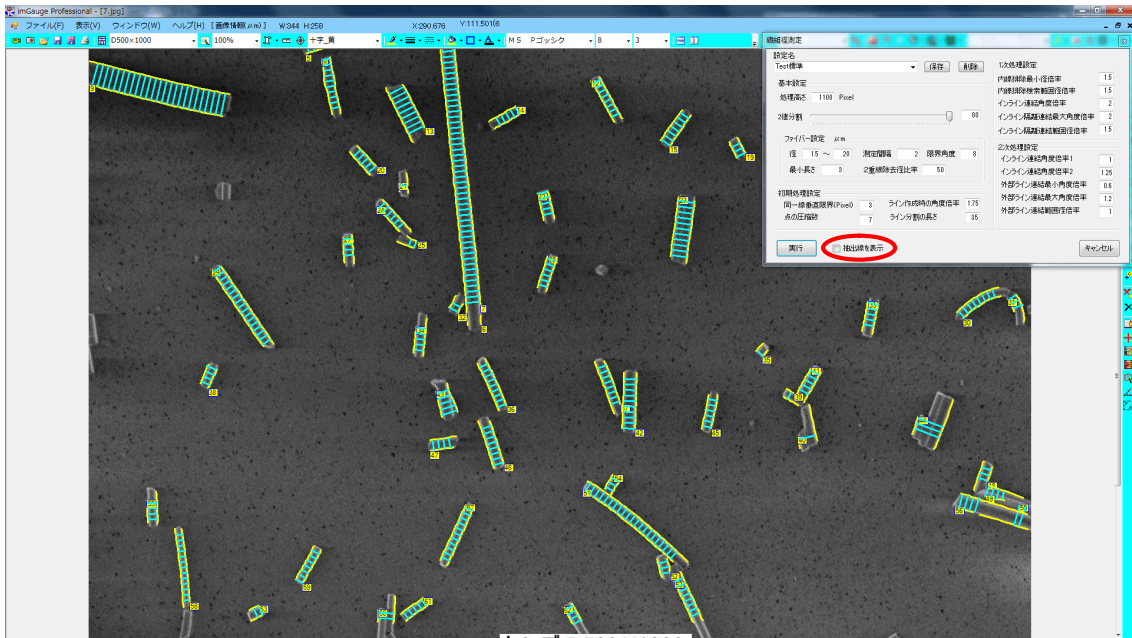
-----1次処理設定-----

補助設定 (通常変更の必要はありません)

-----2次処理設定-----

補助設定 (通常変更の必要はありません)

5) ダイアログの「実行」ボタンを押します。



アクア色の線でファイバー径が抽出されます。

ファイバー輪郭線色を変更する場合は、ボタンを押すと変更できます。(実行処理前に実施)

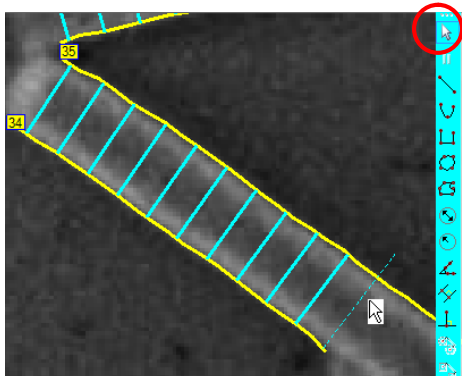


キャンセルボタンを押してダイアログを閉じます。

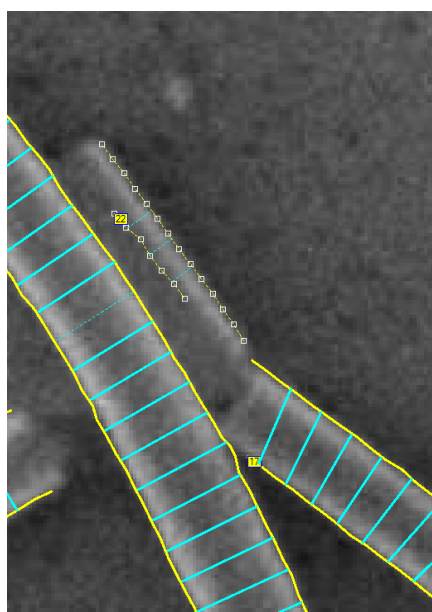
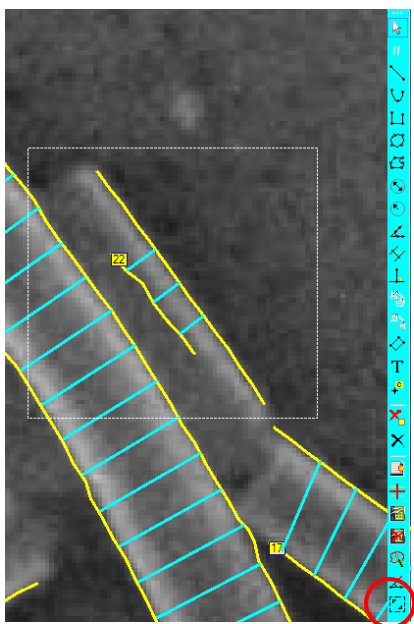
5) 線の削除。

単独削除: 測定ツールバーの「選択ツール」を選択し、削除したい線を左クリックします。

線が点線になります。「Del」キーで削除されます。



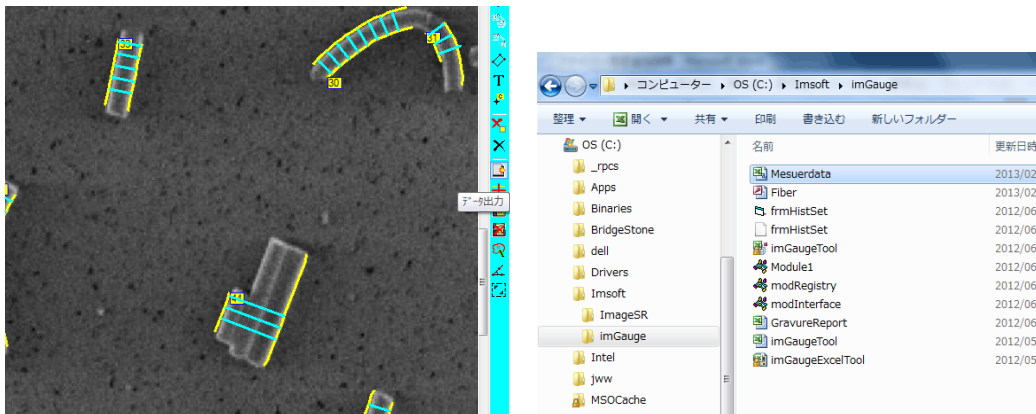
範囲削除: 測定ツールバーの「範囲選択ツール」を選択し、削除したい線を左クリックしマウスドラックします。線が点線になります。「Del」キーで削除されます。



6) データ出力

出力したい画像を選択し、アクティブにします。

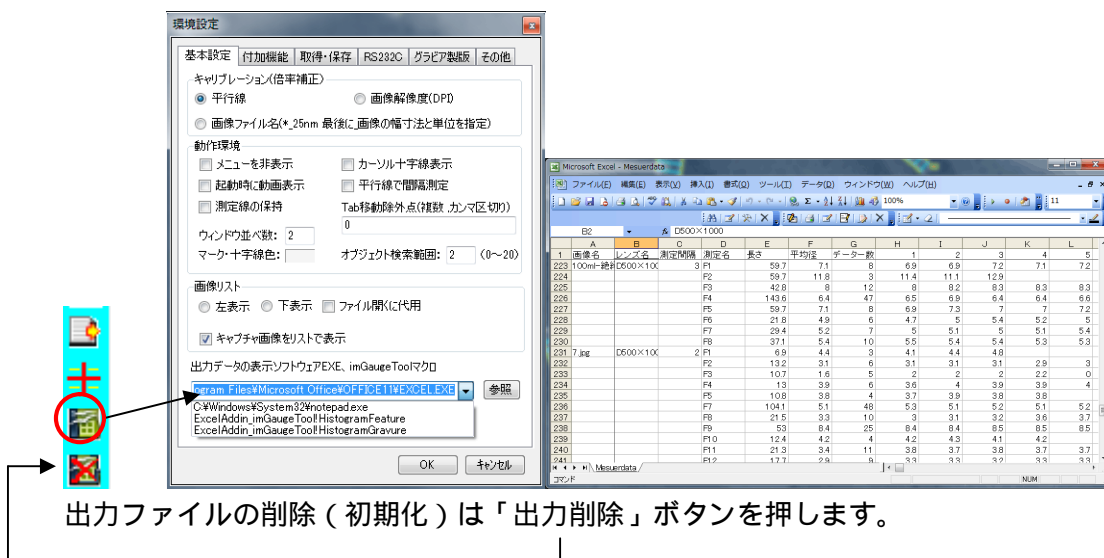
出力測定ツールバーの「データ出力」ボタンを押します。



出力データは、C:\Imsoft\imGauge\Mesuerdata.csv ファイルで出力されます。

出力ファイルの表示

環境設定の「出力データの表示ソフトウェア EXE」設定のアプリケーションで開くことができます。EXE を設定してください。



出力ファイルの削除(初期化)は「出力削除」ボタンを押します。